



ほど勤め、それから自治会長やら、市の福祉関係のボランティアなどの仕事を現在やらせて頂いています。

それで、来年の4月から、放送大学で、福祉と環境について勉強しようと思っています。大学の卒業資格は持っていますので、単位を取得したいのです。先日、当地の新聞記事によりますと、76歳の方が放送大学を卒業されたそうです。

まだまだ、若い方には負けられません。お互いにシルバーパワーで頑張りましょう。たいへん長くなってすみません。これで失礼します。

◇先の太平洋戦争の評価については意見が異なる方もあるでしょう。私は昭和19年に松山の航空教育隊に現役で入りました。新兵教育は野間宏の「真空地帯」さながら残酷きわまりないものでした。戦友の3人に一人は帰って来ませんでした。まえの勲章の話はわたしの義理の兄の実話です。肉親が戦死した者にとっては「侵略」と断定されたり、「犬死にだった」と言われることは、つらいことです。川口さんの気持ちはわかります。

私の兄は、支那事変の初めのころでしたから、おそらく「東洋平和のために支那軍と戦う」という覚悟だったと思います。そして祖国のために戦死したことでしょう。一人息子だったから最期に父や母のことを思いだしたかも知れません。

しかし、今から考えると、1931（昭和6）年8月19日日本の関東軍が満州の奉天郊外柳条湖の満鉄線を爆破し、これを中国側の行為とし満州事変を起こした。これは明らかに軍部が満州を武力占領する計画であった。そして、宣戦布告もしないで、中国全土に侵入しました。他国の主権を無視して侵入することを「侵略」と言います。現代でも定義は同じです。

残念ながら、私たちは当時、そのことを知らずに戦争に巻き込まれて行ったのです。

戦後、中国にも10回以上行っています。おおくの中国人と話してみても、侵略でないとはとても言えません。わたしたちの兄たちは、どんな思いで戦死したのでしょうか。いつまでも残る宿題です。（勉）

#### ◆渋谷さん

深夜テレビを拝見させていただきました。

21世紀を踏まえて、いろいろ考えさせられました。

そして、サミュエル・ウルマンの詩を、思い起こさせて、いただきました。

青春とは、人生の或る期間を言うのではなく、  
心の様相を言うのだ。  
歳を重ねただけで人は老いない。  
理想を失う時に初めて老いが来る。  
歳月は、皮膚にしわを増すが、  
情熱を失う時に精神はしぼむ。  
希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる。

◇「青春とは希望ある限り若く、失望とともに老い朽ちる」けだし名言です。  
有り難く肝に銘じ、体力の続くかぎり『電子耕』を続けます。(勉)

◆SUZUKIさん

4号のコピー有難うございました。同じ中国で死ぬおもいを幾度もしてきた  
だけに涙無しではよめませんでした。

読者が益々増えるようですね。素晴らしいことです。無償の行為は人間にと  
つて最高の行為だと思います。どれだけ多くの人の指針になっていることせう。

ご健闘をいのります。

◇19歳で徴兵になり、内モンゴルのフフホトで初年兵教育をうけ、そこから  
1000キロ以上も南下して湖南省で敗戦となったこと。中国戦線で何度か死  
ぬ思いをされたことをぜひ書いて下さい。(勉)

◇(いいこじいさんのたわごと、筆者の申し出により掲載しません)

◆ペンネーム：猫太郎さん：君が代 日の丸について

君が代、日の丸について、私が日ごろ思っている事をかきます。  
私は、政治的にも、宗教的にも、なんら関わりはありません。しかし、いっか  
いの母親として、とても胸がいたみます。私は、8人の子供を産み育てました。

君が代の歌詞にあるように、とても、お国のために、捧げることは、出来ま  
せん。こんなに、可愛い子供達を、とても、とても・・・入学式、卒業式

と何度出席したことでしょう。式の度に君が代が流れました。でも、私は歌うことが出来ませんでした。黙って下を向く・・・・私のささやかな、抵抗でした。

また、日の丸の赤は、鮮血の色におもえてしまいます。

私は昭和 19 年生まれで、戦争の体験はありませんが、戦後、物のない時に、子供時代を過ごしました。父の軍服でオーバーを作ってもらったり、お腹の空いた時は、生の芋やなすを、かじっていました。運動会や遠足は弁当持参になるので、とても嫌でした。

君が代に新しい意味が付けられても、私の中では何も変わりません。

与謝野晶子の君 死にたまふなかれ・・・・の心境です。

遺伝子組み替え食品とか、ダイオキシンとか、母親だからいえる事って、沢山あるとおもいます。末っ子が 21 歳になり、これから私の時間が持てます。姑の矛先をかわしながら、色々見ていきたいと思っています。

◇母親だったら、誰でも「君 死にたまふなかれ」に同感するでしょう。私も同感です。亡くなった母のことを思い出しました。(勉)

#### ◆ペンネーム：onesto さん：戦争について

戦争を好む人はいないのに現実には戦争は起こるのです。

地球上の全生物は、”種の保存”の法則に則って次世代を増やそうとする作用、と”弱肉強食”の掟により種の保存に逆らう反作用、この作用、反作用のバランスのもとで生存しているのです。

この作用、反作用のバランスは非常に大事なことなのです。新潟のトキは、このバランスが崩れたから死滅したのです。

所で、地球上で最強の人類はどうでしょう。他の生物から攻撃され、殺されると云う弱肉強食の掟が地球上で最強な人類には適用されないのです。

即ち、地球上の全生物が共存共栄していくためには人類にもこの反作用が必

要なのです。

中世のヨーロッパではコレラにより沢山の人が亡くなりました。又、肺病は不治の病と言われ、多くの方が亡くなりました。しかし現代医学ではこれらの病気も克服してしまいました。ガンもエイズもそのうち克服されるでしょう。

人類にとっての反作用の一つが、人と人との争い、即ち、戦争なのではないでしょうか。過去、人類は宗教、イデオロギー、民族等の対立により戦争を起こし、地球上の人口の増加をいくらかでも和らげようとしてきました。日本は21世紀にはいると、人口は減少傾向になります。しかし近年の地球上の人口は毎年1億人ずつ増加しているのです。地球上の人類の安らかな生活を保つために、人類の人口増加を止めなければなりません。

◇戦争について、もう少しわかるように書いて下さいませんか。(勉)

◆ペンネーム：さっちゃんさん：[電耕掲示板]より

初めまして。最近、「電子耕」を愛読させていただいているものです。私は現在大学で一言で言うと「中山間地域問題」についての卒論を作成中です。趣味は畑いじり。今も、季節の野菜を、無農薬完全有機栽培で育てています。宜しくお願いします。

◇卒論がんばって下さい。山崎農業研究所の『耕』

[http://www.taiyo-c.co.jp/yamazaki/yama\\_frame.htm](http://www.taiyo-c.co.jp/yamazaki/yama_frame.htm)

を購読して勉強して下さい。『電子耕』18号で『耕』臨時増刊号の企画を発表します。中山間地問題もとり上げます。ご期待ください。

---

## 目次

<舌耕のネタ> 「見えない恐怖」を考える

<農業情報> 特集・誰にもわかる遺伝子組み換え食品・入門(2)

その1 遺伝子組み換え食品の安全性と不安 大山勝夫

<農業・図書情報> 遺伝子組み換え食品のわかる図書・紹介

<秋の健康食> 10月のしゅんの野菜

## (16) マツタケごはんにサンマ

---

<舌耕のネタ> 「見えない恐怖」を考える

---

9月30日東海村の核燃料加工場で臨界事故が発生したとき、放射能の恐ろしさを考えました。私の親友が長崎原爆の落ちた跡を友人を探して歩き回り、その被害が現れたのは30年後でした。血液ガンでした。

それと同じような被害があとあと誰かに出ないとも限りません。

今は、空气中にダイオキシン、食べ物の中には遺伝子組み換え体（GMO）があふれています。これをどうさけたらよいのか。

環境についてよくよく考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

---

<農業情報> 特集・誰にもわかる遺伝子組み換え食品・入門（2）

---

その1 遺伝子組み換え食品の安全性と不安 大山勝夫

さきごろ、日本植物細胞分子生物学会

<http://www.kazusa.or.jp/gene-s2/jspcmb/>

が北海道大学で開催され、「遺伝子組換え食品 ーその展望と問題点ー」と題する公開シンポジウムが行われた。

ここでは大学、企業、ジャーナリスト、関係省庁、そして消費者団体からそれぞれの立場で話題提供があった。そのなかで消費者代表からの発言が印象に残る。

消費者にとって安全と安心は必ずしも一致しないというのである。

そもそも安全性の検証は科学的に行なわれる。ところが安心とはどうか。安全性に関する検証や科学技術への信頼性、さらに安全を評価する行政への信頼性の度合いによって安心感が決まってくるといえるのである。

また、他の話題提供者ージャーナリストーは遺伝子組換え食品について行なわれたアンケートの結果を紹介したが、そのなかで、組換え食品の安全性に不安をもつ解答は67パーセント。そして、安全であれば抵抗感はないとする解答が70パーセントであったという。

さらに気になるのは、その安全性を誰がいえば信用するかという問いに対して、大学、研究所の科学者と答えた割合が高く、これに対して、行政や企業からの発言が信用度が低いことである。

これらの話題をあわせて考えてみると、いま一般の消費者が先端技術の成果、とくに遺伝子組換え食品に対して抱く不安感がわかるような気がする。つまり安全性を主張する側への信頼関係なのである。

一方、消費者の不安をことさらにあおりたてるようなマスメディアの動きも気になる。6月16日朝刊各紙は「組換え植物の花粉で蝶が死んだ」という米国科学者の発表をセンセーショナルに取り上げた。実はその論文をよく読めば自然条件のもとではそのようなことは起こり得ないし、また発表した科学者自身がそのことを弁明しているという。

こうしてみると一般の市民に科学的に正しい情報を提供するマスメディアの責任はきわめて大きいといえる。

急速に進歩する革新技术の成果を科学者はもとより、一般の市民と共有してうまく使いこなすうえで、科学者、消費者、行政、企業の間にある情報のギャップを埋め、相互の信頼関係を構築することが急務と考える。

(「農政と共済」誌の了解・協力を得て転載)

元農林水産省・農業生物資源研究所 放射線育種場長 農学博士、  
現在 東京生命科学学園 講師。山崎農業研究所会員。(おおやま・かつお)

「農政と共済」は全国農業共済協会発行の週刊誌

<http://www.nosai.or.jp/kyokai.htm>

---

<農業・図書情報> 遺伝子組み換え食品のわかる図書・紹介

---

「遺伝子組み換え食品・覆された安全性」渡辺雄二 (『世界』10月号)

「実質的同等」理論が実験により否定された。全面表示を求めるべく、農水省への働きかけは今後も続けて行かなければならない

渡辺氏は論文のあたまで、こう表記している。ここでは『電子耕』編集部の責任でその要旨を紹介しよう。

「第1の点は「実質的同等性」はウソだという。実質的同等とは、遺伝子組み換え作物が従来の作物と基本的に（実質的に）同じものという理論である。

これにもとずいて厚生省は1996年2月に作成した指針によって、22の遺伝子遺伝子組み換え作物は安全と判断した。

それが現在一部日本の市場にも出回っている除草剤耐性作物（ダイズ、ナタネ、トウモロコシ、ワタ）と害虫抵抗性作物（トウモロコシ、ジャガイモ、ワタ）である。

ところが、それを覆す実験がイギリスのパズタイ博士によって行われ、一時否定されたが、今年の2月に13カ国の毒物学者などの科学者グループ20人が支持した。この声明によってチャールズ皇太子や保守党党首、または食品企業・スーパーの動きを誘発することになった。

さらに遺伝子組み換え作物は、生態系を攪乱する点でもきわめて問題である。アメリカのコネル大学の実験で組み換えトウモロコシの花粉でチョウの幼虫が死んだ。これは遺伝子組み換え作物の花粉で害虫以外の昆虫を減らすことを意味している。またそれらの花粉が周辺の雑草と交配し、組み換え作物の性質を獲得してしまう心配もある。

ところで、日本では組み換え作物のダイズ、トウモロコシが輸入されているのに、そのことが表示されていないため、消費者は知らずに食べている。」

著者の渡辺雄二氏は科学評論家で既に遺伝子組み換え食品の著作もあり、  
「TRC 新刊書籍検索

[http://www.trc.co.jp/trc-japa/search/trc\\_www.asp](http://www.trc.co.jp/trc-japa/search/trc_www.asp)

の「著者名」に「渡辺雄二」を入れると同姓同名の方も含めて34件出ます。

現在ミリオンセラーになっている『買ってはいけない』

<http://www.jca.apc.org/kinyobi/tyosakuken/tyosakuken.html#syuppan>

の共著者でもある。

くわしくは『世界』10月号

<http://www.iwanami.co.jp/sekai/>

をお読み頂きたい。(文責・原田 勉)

\*参考『「買ってはいけない」は買ってはいけない』

<http://www.trc.co.jp/trc/book/book.idc?JLA=99041837>

という本も出ているようです。(太郎)

---

#### ◎ニュース解説・「組み換え大豆」で先物市場混乱

---

日経新聞10月9日の夕刊などによると、

「アメリカ産大豆は11月から99年産に切り替わり、大手商社は相次いで非遺伝子組み換え大豆を輸入する見込みだ」。先物市場で遺伝子組み換え大豆を敬遠する動きがでたのは9月名古屋市で11・9%安、下関市で12・6%安の記録的な安値となった。

「食品メーカーが組み換え品が混入している可能性の高い98年産の取引を敬遠した」(大手卸)が原因と見られる。来年春をメドに表示義務にそった分別表示など検討中で、当分「遺伝子組み換え問題」をめぐる市場の混乱はしばらく尾を引きそうだ。」

なお、アメリカの大豆生産者も来年度の作付けに遺伝子組み換え品種の選択をしないという者が多いと報道されている。消費者の反応がここまできていることの証明であろう。

---

#### <秋の健康食> 10月のしゅんの野菜

---

◎食用菊、ダイコン、シメジ、ナメコ、ニンジン、タマネギ、キャベツ、サツマイモ、ジャガイモ、

○カブ、ゴボウ、レンコン、ハクサイ、コマツナ、ネギ、カリフラワ、サト、イモ、ナガイモ、ヤマトイモ、カイワレダイコン、生シイタケ、マツタケ、ギンナン、

(16) マツタケごはんにはサンマ

効 用： 秋の香りのマツタケごはんをサンマを味わってください。

マツタケはちょっと高いし、外国産で香りが少ないのがありますが、季節の香りです。それにビタミンB2やエルゴステリン（ビタミンD物質）などがたくさんふくまれている、体によいアルカリ食品です。油揚げも一緒に味つけて炊き込むとよいでしょう。サンマを焼いて、腹わたもダイコンおろしと一緒に食べましょう。

材 料：

マツタケ150グラム（米の1／3量ぐらい）、米3カップ（水も同量）、  
コンブ（15センチぐらい） トリ肉20から30グラム、醤油、酒、塩、焼き  
ノリ

作り方：

- 1、マツタケとトリ肉は細かく刻む。
- 2、醤油と酒、塩を合わせた中に具を漬けておく。
- 3、米をといでコンブをのせて火にかけ、吹きあがったらコンブをとり出し、  
2をいれて手早くかき混ぜ、再び吹いたら火を弱めてたきあげる。
- 4、豆腐とワカメのみそ汁、サンマの塩焼きにダイコンとおろしをそえる。

-----  
次の17号予告 特集・誰にもわかる遺伝子組み換え食品・入門（3）  
その2、GM食品の流通実態と自給 大山勝夫  
-----

---

■■■■■ （社）日本劇団協議会主催 創作劇奨励公演 劇団文化座制作  
■■■■□ 平成九年度文化庁舞台芸術創作奨励特別賞 受賞作  
■■□□ 世紀末の田端にこだまする幕末青春鬱屈伝 新しい時よ来たれ！  
■□□□ ◇◇◇「祭りはまだか」◇◇◇  
□□□□ 鳥海 二郎 作 佐々木 雄二 演出  
□□□□ 1999年12月10日～19日 東京・田端・文化座アトリエにて  
□□□□ <http://bunkaza.com/>

---

■山崎農研発行の書籍のご案内  
[http://www.taiyo-c.co.jp/yamazaki/yama\\_books.htm](http://www.taiyo-c.co.jp/yamazaki/yama_books.htm)

---

<「電子耕」原稿・投稿募集>

---



を参考に設定されることをお勧めします。

また、○のなかに数字が入った記号や半角カタカナもインターネットでは禁止されている（他のパソコンで文字化けの可能性大なため）とのことなのでご注意ください。

詳しくはHATさんの「インターネットメールの注意点」

<http://www02.so-net.ne.jp/~hat/imap/cover.html>

をお読みください。

---

■バックナンバーは、

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

のなかの「★バックナンバー」のそれぞれの号番号をクリックすると読めます。

---

『電子耕』は、2つのルートで配送しております。

『まぐまぐ(ID=14872)』

<http://www.mag2.com/>

『Macky !』

<http://macky.nifty.ne.jp/>

SPECIAL THANKS to INTERNET JAH

<http://www.jah.ne.jp/>

\*\*\*\*\*

週刊「74歳が送る農業文化マガジン『電子耕』」 第16号

--農業・健康・食・図書・人物情報--

バックナンバー・購読申し込み/解除案内

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

1999.10.14（木）発行

東京・ひばりヶ丘 原田 勉

<mailto:tom@nazuna.com>

\*\*\*\*\*発行部数 1318+41 部\*\*\*\*\*